



イーアイエス ひだり エックスアールティー みぎ すいせいたいようめんつうか  
E I S (左), X R T (右)での水星太陽面通過

ず  
図は、「ひので」<sup>えいせい</sup>衛星の **X** <sup>えつくすせんぼうえんきょう</sup>線望遠鏡

イーアイエス エックスアールティー <sup>かんそく</sup> <sup>すいせい</sup>  
(**E I S, X R T**)で観測した水星の

<sup>たいようめんつうか</sup> <sup>がぞう</sup> <sup>えつくすせん</sup> <sup>ほうしゃ</sup>  
太陽面通過の画像です。 **X** 線を放射する

<sup>ころな</sup> <sup>たいようひょうめん</sup> <sup>じょうくう</sup> <sup>うちゅうくうかん</sup>  
コロナは、太陽表面より上空の宇宙空間に

<sup>ひろ</sup> <sup>すいせい</sup> <sup>たいよう</sup> <sup>ひょうめん</sup>  
広がっています。水星が太陽の表面にさし

<sup>まえ</sup> <sup>エックスアールティーがぞうひだりがわ</sup>  
かかる前から、 **X R T** 画像左側にある、

<sup>やく</sup> <sup>まんど</sup> <sup>ころな</sup> <sup>えつくすせん</sup> <sup>すいせい</sup>  
約**100**万度のコロナからの **X** 線を水星がさ

<sup>くろ</sup> <sup>まる</sup> <sup>かんそく</sup>  
えぎって、黒い丸として観測されています。